



エストニア月間情勢報告

【2026年6月】

在エストニア日本国大使館



【6月の注目記事】

内政

- 23日、カリス大統領、戦勝記念日の演説で大統領選挙に出馬しない旨表明。

外交

- 9日、NB8首相会合（於：タリン）。ウクライナ支援等に関する共同声明を発表。
- 24～26日、第5回ウクライナ復興会議にて、国光あやの外務副大臣とツァフクナ外相が会談。

防衛

- 30日、NATO第1独蘭軍団、エストニア及びラトビア陸軍の戦術的指揮を北東多国籍軍団から7月1日に引き継ぎとの発表

経済

- 9日、IMF、今年の特エストニア4条協議を終了。債務増加で持続不可能な針路に向かう恐れを警告。
- 16日、エストニア中央銀行、経済予測を発表。今年の経済成長率は2.4%。

SNS

大使館HP：https://www.ee.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html

中村耕一郎大使インスタグラム：https://www.instagram.com/amb_japan_estonia/

大使館インスタグラム：<https://www.instagram.com/japanembassyestonia/>

大使館フェイスブック：<https://www.facebook.com/share/1Yecpayktp/?mibextid=wwXlfr>



1 内政の主な動き

- 2 日、国会、危機的状況及び国防に関する法案を可決。既存の国防法、緊急事態法、非常事態法を一本化し、危機への準備態勢を強化する一方、戦時の検閲強化に対する批判も。
- 4 日、ラーネメツ社民党党首、議員経費を巡る違法行為は確認されずに捜査終了。
- 4 日、カリス大統領、ハンソ現駐中国大使（元国防相）を駐米大使に任命。
- 8 日、最高裁、カリス大統領が昨年 to 公布を拒否した教会・集会法改正は合憲と判断。大統領は改正法を即日公布（27 日施行）。安全保障の脅威となる外国の宗教団体との関係を禁止する改正だが、大統領は宗教の自由を制限するという立場。
- 10 日、国会、あらゆる同意なき性交を犯罪とみなす刑法改正案を可決。欧州評議会イスタンブール条約を国内法で実施へ。
- 10 日、国会、外国の囚人受け入れを可能とする刑務所法等の改正案を可決。スウェーデンとの刑務所協定を批准し、同国の囚人最大 600 人を受け入れへ。政府は囚人 1 人あたり、月約 8,500 ユーロを得る。
- 10 日、国会、信用情報共有法案を可決。借り過ぎの防止に個人ローンに関する情報を集約するデータベースを創設へ。
- 11 日、政府、2030 年までの無人機に関するロードマップを承認。国内ドローン・メーカーを支援するほか、ドローンの脅威に対応する法整備を推進。
- 13 日、中央党評議会、カリス大統領の続投と大統領の直接選挙制を支持する声明を採択。
- 14 日、ソ連による 6 月シベリア強制移住 85 周年。カリス大統領らが追悼行事に出席。
- 15 日、国会、リギ財務相の不信任案を否決。賛成 41 票。野党議員 48 人が財政赤字等を批判して提出。
- 16 日、最高裁、車両の盗難又は損壊時に自動車登録料金の返金を認めない自動車税法は合憲と判断。マディセ司法長官が最高裁に違憲認定を要請。
- 17 日、国会、補正予算案や原子力導入の法整備のための原子力エネルギー安全法案を可決。補正予算は東部国境整備や AI プロジェクトに配分。本年歳入は 2,400 万ユーロ減少、歳出は 4,400 万ユーロ増加、投資は 150 万ユーロ増加。財政赤字は GDP 比 4.3%。
- 17 日、フッサル議長、カリス大統領の提案で大統領選挙のための臨時会を 9 月 2 日に召集。
- 18 日、エストニア五輪委員会総会、テイガマギ陸上競技連盟前会長を同委員会会長に選出。カリユライド前会長（前大統領）は 4 月の不信任決議で辞任。
- 23 日、カリス大統領、戦勝記念日の演説で大統領選挙に出馬しない旨表明。

2 外交・その他対外関係の主な動き

- 1 日、パコスタ法務・デジタル相とウィルトベルガー・ドイツ・デジタル相、デジタル・イノベーション連携協定に署名（於：ドイツ）。

- 2日、スヴィリデンコ・ウクライナ首相、エストニア訪問。首相、大統領、議長とウクライナのEU・NATO加盟や前夜のロシアによるキーウなどへの都市攻撃に関して会談。
- 4日、北欧、バルト、フランス、カナダ、オーストラリアの外相とカッラスEU外務・安全保障政策上級代表、ヒズボラとイスラエルの情勢に関する共同声明を発表。両者に抑制や停戦協定の順守を呼びかけ、レバノン政府の尽力を支持。
- 4～5日、ミッハル首相、EU・西バルカン首脳会合に出席（於：モンテネグロ）。地域の安全保障やEU拡大に関して協議。
- 8～9日、クルベルグス新ラトビア首相、就任後初の海外訪問でエストニア訪問。ミッハル首相、カリス大統領、フッサル議長とレール・バルティカ事業やドローン対策に関して会談。
- 9日、NB8首相会合（於：タリン）。ウクライナ支援等に関する共同声明を発表。ゼレンスキー大統領も出席し、マクロン大統領は安全保障に関する協議にリモートで参加。ゼレンスキー大統領は、カリス大統領やストゥブ・フィンランド大統領と会談し、ミッハル首相と安全保障・防衛協力強化に関する宣言に署名。
- 9日、シビハ・ウクライナ外相、エストニア訪問。ツァフクナ外相と対露制裁等に関して会談し、在エストニア・ウクライナ名誉領事の活動に関する協定に署名。
- 11日、マルタ騎士団のダンラップ総長及びモンテクーポ「首相」、エストニア訪問。総長は大統領及び議長と会談し、首相はツァフクナ外相と保健等に関する協力協定に署名。
- 15日、ツァフクナ外相、EU外相会合、EU加盟交渉を開始したウクライナ及びモルドバとの政府間会議、北欧・バルト・ハンガリー外相会合に出席（於：ルクセンブルク）。
- 18日、エストニア、ベラルーシからラトビアへの不法越境対策のために警察部隊「ESTPOL-11」12人をラトビアに派遣との報道。
- 18～19日、ミッハル首相、欧州理事会に出席（於：ブリュッセル）。次期EU予算やコスタ欧州理事会議長とロシアの接触に関して協議。
- 19～20日、ツァフクナ外相、ドイツ訪問。外相とNATOアンカラ会合等に関して会談し、キール安全保障会議で基調演説。
- 24～26日、ミッハル首相、ツァフクナ外相、レイス・インフラ相、第5回ウクライナ復興会議に出席（於：ポーランド）。国光あやの外務副大臣とツァフクナ外相が会談。次回は来年1月28日～29日にエストニアで開催。首相はEU東部加盟国首脳会合にも出席。
- 25日、エストニア、AIや重要鉱物のサプライチェーンに関する「パックス・シリカ」宣言に署名し、オブザーバーとして参加。
- 28～29日、フッサル議長、NATO加盟国議長会議に出席（於：トルコ）。防衛力強化に関して協議。
- 29日、外務省と気候省、ウクライナ・エネルギー支援基金に12万5,000ユーロを拠出。累計275万ユーロの拠出。

3 防衛の主な動き

- 8～12日、包括的な国防及び危機管理に関する大演習「ILVES 2026」。内閣府が内務省等と協力して開催し、官民150団体以上から約4,000人が参加。
- 10日、ロウゲ町（ヴォル地方）で市民が墜落した爆薬5キロ搭載のドローンを発見。ウクライナのおとりドローンの模様。
- 15日、ペフクル国防相、フランス訪問。ヴォートラン軍事相と防衛協力強化に関する共同宣言に署名し、防衛産業見本市「Eurosatory」を視察。
- 22日、空軍、最初のドイツ製「IRIS-T SLM」中距離対空ミサイルを受領。
- 30日、NATO第1独蘭軍団、エストニア及びラトビア陸軍の戦術的指揮を北東多国籍軍団から7月1日に引き継ぎとの発表。エストニア・ラトビア国境での式典に4か国の国防相及び司令官が出席。

4 経済の主な動き

- 1日、Wise社（フィンテック）、ベルギーで資金洗浄に関する規則違反で捜査対象に。エストニア人が英国で創業し、欧州事業本部はブリュッセル。
- 9日、IMF、今年のエストニア4条協議を終了。債務増加で持続不可能な針路に向かう恐れを警告。
- 15日、マエサル前内閣府首相室室長、Enefit社（国有エネルギー子会社）社長に任命。
- 16日、エストニア中央銀行、経済予測を発表。今年の経済成長率は2.4%。3月末予測時（2.8%）から0.4%下方修正。中東情勢が近く緩和すれば、今後2年間は2.5%程度で推移見込み。
- 30日、ロシア、7月1日からフィンランド、エストニア、ラトビア国境の複数の検問所で鉄道輸送を一時的に停止すると発表。越境に関し、南部のコイドゥラおよびルハマーでは歩行および車両が、北部のナルヴァでは歩行のみ可。

5 経済関係統計（出典は特に記載がなければ統計庁）

- 第1四半期平均賃金（2日）：前年同期比+6.2%の2135ユーロ。タリンでは2538ユーロ。
- 5月消費者物価指数（5日）：前年同期比+3.7%、前月比+0.4%。
- 4月貿易（9日）：輸出は前年同月比+13%の18億ユーロ、輸入は+12%の22億ユーロ。

6 日本関連報道数

	政治	経済	文化	社会	スポーツ	その他	計
現地記者	2	0	0	0	0	0	2
キャリー	0	0	0	0	1	0	1
不明	0	0	0	0	0	0	0
計	2	0	0	0	1	0	3

（注意）以上の記載内容は、エストニア国内の報道をまとめたものであり、当館としてその記載内容に責任を有するものではありません。